

会 議 録

会 議 名	令和3年度第1回東浦町男女共同参画推進委員会	
開 催 日 時	令和3年7月6日（火） 午前10時から午前11時45分まで	
開 催 場 所	東浦町役場本庁舎 合同委員会室	
出 席 者	委員	山崎 宏子委員長、中村 建志郎副委員長、中島美幸委員、外山 淳恵委員、鈴木 悟志委員、鈴木 涼子委員、戸張 里美委員、児玉 しげみ委員、鈴木 恵子委員
	事務局	筒香協働推進課長、山本協働推進係長、山田主事
欠 席 者	松下 玲子委員、鈴木 友和委員	
議 題	1 開会 2 (1) 第2次東浦町男女共同参画プラン中間見直し版の進捗状況について (2) 第3次東浦町男女共同参画プランの取組案について (3) 第3次東浦町男女共同参画プランの基本理念について	
非公開の理由		
傍聴者の数	3名	
審 議 内 容 (概 要)	別紙のとおり	

協働推進係長 9名の出席により会議開催の定足数に達していることを確認
(うち遅刻1名)
傍聴者の確認(傍聴者3人)
会議録作成のための録音の了承
会議資料の確認

1 開会

企画政策部長 コロナ禍の影響により生活様式が大きく変化し、終息後のアフターコロナにおいても、ワーク・ライフ・バランスや生活様式についての考え方が大きく変化していくと想定される。
本来であれば昨年度に第3次東浦町男女共同参画プランの策定が完了する予定であったが、コロナ禍によって一年延期した。
ライフスタイルの多様性など社会情勢の変化を踏まえ、皆様のご理解・ご協力のもと、より良いプランの策定に努めていきたい。
本日は忌憚のないご意見を賜りたい。

2 議題

(1) 第2次東浦町男女共同参画プラン中間見直し版の進捗状況について

委員長 議事の進行の仕方について説明。(基本目標ごとに審議する。)

事務局 第2次東浦町男女共同参画プラン中間見直し版の概要及び施策進捗状況調査表の見方について説明。
基本目標1「男女共同参画の意識づくり」について抜粋して報告。

■重点施策1-1 正しい理解の促進

委員 No.2「講演会や研修会の開催」について、職員研修を刈谷市と合同で開催したのは良いことだと思う。今後、自治体も長期的に見ると様々な面で財政的に厳しくなる。研修に限らず、一緒にできることは積極的に行っていくとよいと思う。参加人数が少ないので対面で行ったかと思うが、リモートで行えばそれぞれの市町にいたまま職員が参加できる。

委員 No.1「意識啓発・広報の徹底」の図書館の取組(関連図書の特集展示)はとても良いと思う。ウィルあいちの図書館はとても面白く、フィクション・ノンフィクションにとどまらず、マンガを含めてジェンダーに関心を持ってもらえるような書籍が充実している。

視聴覚資料も含めて特集を組むと、より多くの人に関心を持ってもらえるのではないか。

■重点施策 1-2 人権尊重意識の促進

委員 No.5「地域への人権啓発」について、「性別、性的指向、国籍などの多様な生き方を認め合い…」とあり、多様な生き方を認め合うのは重要なことであると思うが、ここに「国籍」を含める必要はあるか。このプランでは、男女が性別によって分けられてしまっていることが重要である。第3次プランの案でも記載されていたが、性自認などの問題についても触れてほしい。

■重点施策 1-3 男女平等教育の推進

委員 No.8「保育士、教職員に対する男女平等の推進」について、LGBTの子どもについては不用意な声掛けが自殺に結び付くため取組が必要。また、第3次プランの案には記載があったと思うが、LGBTだけでなく性教育などにも取り組んでほしい。

キャリア教育における教員の無意識の偏見も問題。教員が無意識に男の子にはこんな職業が向いている、女の子には理系は無理といったことを考えてしまう。

昨日の新聞にも載っていたが、内閣府が教員向けの啓発冊子「男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり～中学校を中心として～」を作成した。ぜひキャリア教育に影響を与えかねない無意識の偏見について取り組んでほしい。

委員 同じく No.8 について、LGBT についてスクールカウンセラーとの連携により理解を深める旨が記載されているが、学校ではSDGs に絡めてジェンダー平等についても学んでいる。テーマ別の学習では、ジェンダーの問題について調べている生徒もいる。それぞれの学校でSDGs の取組は行っているので、関連して記載しておいても良いと思う。

委員 SDGs について、日本はSDGs 達成度世界ランキングにおいて、162 か国中 15 位。まだ先進国の中では低い。スウェーデンやフィンランドなどの国が上位を取っている。17 の目標のうち、「目標 4：質の高い教育をみんなに」の項目では良いポイントを取っているが、日本にとって最大の課題として指摘されているのが、「目標 5：ジェンダー平等を実現しよう」の項目。

ジェンダーについて、日本はまだまだ遅れている。力を入れて
いってほしい。

事務局 基本目標2「働きやすい環境づくり」について抜粋して報告。

■重点施策 2-1 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
の実現

委員 全体に言えることだが、ワーク・ライフ・バランスの実現のためにはリモートを活用していくことが必要だと思う。

ワクチンの接種券が届いた際、申し込みで戸惑った高齢者の方が大勢いたというニュースにもあったが、高齢者・現役世代含め、リモートの使いこなしに慣れる学習機会を確保していく必要がある。10年後にまたパンデミックがやってくるかもしれない。

すべてをリモートにする必要はないが、リモートを取り入れることによって働き方も暮らし方も広がっていくと思う。

リモートで外国の方とつながることができたり、無限の広がりを感じる。少しのスキル・慣れであるので、この機会を逆手にとって様々な世代がこのスキルを自分のものにして仕事も生活も充実させていけると良いと思う。

■重点施策 2-2 子育て・介護への支援

委員 No.19「保育サービスや放課後児童対策の充実」について、令和2年度実績にて「新たな委託先を探しながら、本町が事業主体となり、病児・病後児保育事業を実施」とある。働くお母さんにとっては、病児・病後児保育が一番充実してほしいことだと思う。以前は1医院だけ受け入れをしてもらっていたと思うが、今はいくつかの医院に受け入れをしてもらっているか。「新たな委託先を探す」とあるが、進展はあったのか。

事務局 以前は病院で受け入れていただいていたが、今は子育て支援センターで保育士に見てもらっている。しかし、やはり医療関係者に行っていただくのが望ましいため、新たに協力してもらええる医療機関を探している段階である。

委員 子どもの体調が悪い時は、母親が休むのが当然というアンコンシャス・バイアスに母親自身も縛られて、仕事に行くことに罪悪感を持っている状況にあると思う。

コロナ禍になって、潜在看護師の存在が見直されている。病児保育の充実による働く母親・父親の支援について、そうした方たちの能力を発揮する場としてのマッチングなど、行政として考えてほしい。

委員 No. 20 「妊婦及び子育て中の男女に対する学習機会の提供」について、課題点として「パパママ教室の再開時期が未定であること」が挙げられている。これもリモートで行うことはできないか。妊婦さんも外に出るのが怖い、人とつながることができないといった不安があると思う。日常生活の不安、出産に対する不安があるので、何かしらの形でつながっていたほうが良い。産婦人科でもリモートでの教室を行っているという話を聞く。町でも検討してほしい。

委員 名古屋市で実施するイベントでは、リモートで「パパとの料理教室」を開催した事例がある。若い方はリモートの敷居も低いと思う。

■重点施策 2-4 各家庭の状況に応じた自立支援

委員 No. 27 「高齢者の暮らしを支える取り組みの推進」について。自分はコロナ禍になってから、2年ほど在宅勤務をしている。一日の歩数が大幅に減り、自分でも体力が落ちているのを実感している。ましてや、高齢者の場合が心配。コロナがいつ終息するかは不明だが、体力づくりや運動の支援について考えないといけない。

委員長 「フレイル予防訪問事業」が令和2年度は実施できなかったとのこと。新型コロナウイルスの先行きが見えない状況の中で、高齢者の方も不安だと思う。少しずつでも事業が展開されるとよいが。

委員 高齢者の方は、体力の低下だけでなく、物忘れが進んでいたり、身なりに気を使っていた方がそうではなくなったりしていて、心配している。

ワクチン接種の2回目が済んだ段階で、サロンも始めていこうという声がでている。少しずつ元に戻っていくと思う。

福祉センターでも、いろいろなプログラムを実施して少しずつでも足を運んでもらおうとしている。ただ、人数制限や申込制などがあることの不便は感じる。参加者から「ここが開いていてよ

かった」という声もあるので、細々とでも続けていきたい。

今日はヤクルトの方がお腹の健康について話してくれている。いろいろな団体との関係を保ちながら、足を運んでもらえるような努力をしていきたい。

委員 コロナ禍になってから、様々な行事や会が中止になっている。運動能力の衰えもあるが、人との関わりが薄くなってしまい、家の中で閉じこもって半ばうつ状態になっている方が多いのではないかな。

東ヶ丘交流館でカラオケの会を月2回持っているが、今はカラオケが禁止になっている。いつも楽しみにしていた方からは「いつからやるのか」「どうしてやらないのか」という声が聞こえてくる。

新型コロナウイルスも非常に怖いため自己防衛は必要だが、そのために閉じこもってしまっているのは、身体的・社会的な能力がどんどん衰えてしまう。

そのバランスをどうとるのが大事になってくると思う。幸いにも高齢者はワクチン接種がほぼ終了しているため、町の方もステージが変わったという認識で様々な施策を実施してほしい。

委員長 先行きが見えない不安はあるが、進んでいかなければならない。高齢者だけでなく、中高年や子ども・若者も新型コロナウイルスとの付き合い方を考えなければならない。町もその点を踏まえて事業を考えてほしい。

事務局 基本目標3「男女ともに活躍できるまちづくり」について抜粋して報告。

■重点施策 3-1 政策・方針決定への男女共同参画の推進

委員 資料2を見ると、各種審議会・委員会を合わせたトータルでの女性委員比率が27.2%となっている。さほど悪い数字ではないと思うが、個々の審議会・委員会を見ると、男性が100%で女性が一人もいないというところも散見される。

重要な委員会・審議会でも女性が一人もいないところもあるので、まずは現状で女性がゼロのところにも一人でも入っていけるようにしてほしい。

事務局 基本目標4「暴力を容認しない社会づくり」について抜粋して報

告。

■重点施策 4-1 女性に対する暴力の根絶

委員 コロナ禍においてDVの相談件数が増えたという報道がなされているが、東浦町においてはどうか。

事務局 詳しく確認していないが、東浦町の窓口において例年よりも相談件数が増えたという話は聞いていない。

委員長 DVの相談窓口を案内するカードについて、今まで置いていなかった施設に設置したのは評価されるべきだと思う。

児童館にもあるが、入り口すぐにあるので取りづらいという問題はありますが、置かれていることは評価されるべきこと。

委員 No.45「あらゆるハラスメントの根絶に向けた啓発の推進」について、ハラスメント研修をオンラインで実施し、住民も受けられるようにできるとよい。被害者は表に出たがらない人もいる。オンラインでの研修なら、名前や顔を表示せずに受けられれば対処法を学べるのではないか。

(2) 第3次東浦町男女共同参画プランの取組案について

事務局 第3次東浦町男女共同参画プランの基本名称案について説明。

委員 資料 28 ページに記載されている基本成果指標「男性職員の育児休業等取得率」について、現状値が60%に対し目標値が30%と、目標値が現状値より下がっている。これはどういった意味か。

事務局 令和2年度の数値は、例外的に高かったという認識。対象となる職員の人数もさほど多くないので、一人取るか取らないかで数字が上下する。令和13年度の目標値を30%としているのは、国の第5次男女共同参画基本計画における目標「2025年までに地方公務員の男性の育児休業取得率を30%とする」に合わせている。

委員 昨年度の数値が高かったことの中身については検討したか。この数字の算出方法については分からないが、たとえば1日、1時間という時間・期間についても加味しているのか、それとも単に回数だけをカウントしているのか。そのカウントの仕方によって数値が変わってくると思う。対象者が5人いて、そのうちの3人

が1時間ずつ休みをとれば60%となるのか。数だけ見れば高い数値を示すかもしれないが、中身が伴わない事例はいくらでもある。秘書人事課ではその点をどのように捉えているか。精査しなければならない。

事務局 数値の考え方については確認する。

委員 資料24ページの学校教育課に関する項目について、生徒の意識を変えるということなのか、教員の意識を変えるということなのか分かりづらい。

事務局 分かりやすい表現となるよう精査する。

委員 資料35ページ「女性の役職登用率」及び「審議会等委員に占める女性の割合」について、目に見える内容であるので大事なことだと思う。根本的に、女性職員の役職登用率が低い理由は何なのかということ把握しなければ、それに対する対応はできないと思う。

審議会委員は募集をかけるので、枠を設ければすぐに女性割合を増やすことができると思う。それができないのであれば、どこに理由があるのか。数だけを目標として掲げていても増やすことはできないのでは。

事務局 女性職員の役職登用率が低い理由については把握していないが、審議会委員については宛て職で組織していることが多く、元の役職が男性であることが多いという事情がある。公募委員を設置している委員会・審議会と設置していない委員会・審議会別に委員の男女比を見ると、設置している委員会・審議会の方が女性比率が高くなっている。できるかぎり公募委員を入れることが女性委員を増やす方法だと考えている。

委員 宛て職は団体に対するものであれば、その中で女性を委員として出席させてもらうなどできないか。委員会としての組織を作る場合は、男女比を踏まえた枠を設定しながら組織することができないか。そうしない限り、男女比は現状のままになってしまうと思う。コンセンサスを得ながら枠を決めていく必要はあると思う。

委員 女性職員の役職登用については、女性職員当人の頑張りに任せ

るだけではいけない。女性職員は既に頑張っている。むしろ、女性が上に上がっていきにくい環境の改善や、男性職員・上司の理解が必要。資料 34 ページにおいて「女性職員に対し、女性リーダーに関する研修の参加を推奨します」とあるが、男性上司に対し、もっと女性職員にチャンスを与えるような研修を行うことも必要なのではないか。

女性活躍の問題は、今では男性の問題だと言われている。女性職員は既に頑張っているが、リーダーに推挙するのが男性が多いため、なかなかリーダーになることができない。この点についても文章を工夫してほしい。意識づけを変える必要がある。

基本成果指標について元号での表示がされているが、プランは全編を通して和暦に西暦が併記されている。和暦だけではイメージがしづらいため、すべてに西暦を併記するか、すべてを西暦で表記するなどといった書き方を検討してほしい。元号が変わった場合の表記の変更も大変である。

資料 45 ページに資料編として第 3 次プランの基本成果指標一覧が掲載されているが、指標編ではなく本編に入れた方がよい。16 ページから 17 ページにかけて第 2 次プランの指標の達成率が掲載されているため、このあたりと並べた方が目標の推移を理解できるのではないか。

資料 43 ページにおいて、「不妊治療対策の推進」が記載されている。ちょうど今日の朝刊において、これまで保険適用がなかった不妊治療に対し保険が適用されるということが報道されていた。

不妊治療は金銭面だけでなく、精神的にも負担が大きい。不妊治療を行ったために離婚したというケースもある。不妊治療の成功率は 20 代でも 2 割程度。不妊治療を諦めた女性を対象とした国の意識調査では、「不妊治療をやめてほっとした」という回答が多かった。それほど追い詰められてしまっているということ。

保険医療課で対応できる範囲か分からないが、精神面での支援も必要ではないか。

委員 資料 41 ページの「東浦町DV相談支援ネットワーク」の図について、東浦町役場のDV相談窓口が「ふくし課社会高齢係」となっている。セクハラ、DV、性被害を受けている女性は、被害を口に出せないことが問題となっている。相談窓口を求めている方からしたら、この名称では相談に繋がりにくいのではないか。「女性相談係」などの名称にならないか。

委員 先日、NHKの番組で男性が被害者となる性暴力について取り上げられていた。数としては女性に対する暴力はるかに多いが、一方で男性が幼少期や職場で被害に遭うこともあり、実態すら明らかになっていないという点も含め深刻である。

名古屋市には男性向けの電話相談もある。日赤の「なごみ」というワンストップの性被害相談窓口では、男性が受けた被害についても対応している。

男性の性暴力被害者は、女性被害者以上に相談できないという悩みを抱えている。そうした方たちに相談窓口があることを紹介できたらよいのではないか。

大卒は女性に対する暴力の根絶でよいと思うが、男性の問題についても視野に入れていけるとよい。

(3) 第3次東浦町男女共同参画プランの基本理念について

事務局 前回の会議で、第3次プランの基本理念について、「誰もが尊重される 持続可能なまちへ」を提案していたが、「持続可能な」というフレーズが曖昧で分かりにくいというご意見をいただいていた。

それを受け、基本理念について他の案があれば今回の会議でご提案いただくことになっていた。意見はあるか。なければ、次回の会議までに代替案を考えておく。

委員 「輝けるまち」「活躍できるまち」はどうか。

委員 日進市が昨年度策定したプランでは、「誰もが暮らしやすい多様性を認め合う日進」となっている。

「輝く」「活躍」という言葉も日進市でも案として挙げられたが、輝けない人、活躍できない人もいるのではないかという意見があり、「誰もが暮らしやすいまち」に落ち着いた。

日常的に暮らしていると「持続可能性」についてはあまり意識しない。

委員長 事務局には今挙げられた案を参考に代替案を考えてほしい。委員も、次回の会議までに良い案があれば考えてみてほしい。

委員 「誰もが尊重される」の部分は残すということか。

事務局 「誰もが尊重される」部分を含め、全体の代替案として考えてほしい。

委員 「重点施策」の部分に、「男性の」「女性の」といったフレーズが残っている。「男性の家庭への参画」「女性に対する暴力の根絶」など。「男性」「女性」といった言葉をなるべく外すようにした方が、男女共同参画の理念に近づくのではないか。

(4) その他

委員 地域開発みちの会では、先日大府市にてフォーラムを開催した。社会学者の上野千鶴子氏に講演をいただいた。

その中で、大府市のジェンダー統計がホームページに載っていないという指摘があった。東浦町のホームページを検索してみたが、東浦町も掲載がなかった。

男女共同参画に関する住民意識調査の調査項目は載っていたが、調査の結果は掲載しないのか。

事務局 住民意識調査の結果はホームページに掲載しているが、「ジェンダー統計」という検索ワードではヒットしないと思う。

委員 「男女共同参画」というくくりではなく、全体の統計について掲載している自治体はあるが、「ジェンダー統計」というカテゴリを作っているところは少ないのではないか。

委員 日進市のホームページには「ジェンダー統計」のカテゴリがあった。

委員 日進市は今年度、「ジェンダー統計の整備」に力を入れている。ホームページの充実は課題として検討してほしい。

閉会